



各 位

平成 28 年 2 月 10 日

会 社 名 株式会社 SOL Holdings
代 表 者 名 代表取締役社長 赤尾 伸悟
(JASDAQコード・6636)
問 合 せ 先 取締役管理部長 中原 麗
電 話 03 - 3449 - 3939

営業外損失及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期第 3 四半期会計期間（平成 27 年 10 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）において、営業外損失（為替差損）及び、特別損失（減損損失）を下記のとおり計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外損失の内容

為替相場の変動により、第 3 四半期連結累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）において、為替差損 8 百万円を営業外損益に計上いたしました。

なお、当該為替差損につきましては、関係会社への貸付に対する為替差損となります。

2. 特別損失の内容

第 3 四半期会計期間（平成 27 年 10 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）において、第 2 四半期決算短信にて説明のとおりインドネシアにおいて確保している圃場につき栽培には適した場所であるにも関わらず、圃場への連絡路が極端に狭いため収穫に必要な農耕機械の搬入が物理的に困難な場所であり、収穫においては不適地であることが判明したため、他の圃場の選定も含め検討を行っておりましたが、現時点では新たな圃場は選定できておりません。このような実状を鑑みインドネシアにおけるペレット製造事業化までには時間がかかることが想定されるため、インドネシア現地法人が所有するペレット製造機であるペレタイザー及び、現地工場内の機械設備等の固定資産に対し減損損失 30 百万円の計上を行いました。

また、レストラン・ウェディング事業においても、当社が子会社化する時点で試算しま

した収支計画に対し、結婚披露宴の成約件数減少、人件費及び老朽化した施設の修繕費増加に伴い、当初予測していた収益確保が困難と予想されるため、のれんの減損損失 5 億 52 百万円及び、閉店する店舗の原状回復に係る費用が当初見積もりと実際に発生する費用に乖離が生じたため差額の減損損失 18 百万円を、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失として計上いたしました。

2. 業績への影響について

上記の減損損失については、本日公表の「平成 28 年 3 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上